

坂戸橋(應平橋)

天竜川をまたぐ長野県中川村の坂戸橋(橋長 77.9m 幅員 6.0m 昭和 7 年竣工)は地域住民にとって、とても大きな役割を果たしてきた。高坂應平県議(高坂徳風の長男 明治 26～昭和 29 年)が長野県議会に働きかけ実現した橋である。高坂應平は上田蚕糸専門学校卒業後、村議及び県議となった。坂戸橋は、令和 2 年 10 月 16 日に開催された文化審議会より文部科学大臣宛に「重要文化財指定」の件が答申され、同年 12 月 23 日付 文部科学省官報告示第 140 号を経て正式に指定された。

(川端紅葉著 2026・2・20)



「坂戸橋(應平橋)」 ©2020 川端紅葉